

ルート66がもう地図上にない！って知ってますか？

mono



モノマガジン特集号

新製品と時代を読む特集

2005NO.516 定価620円
www.monomagazine.com

平成17年5月2日発行・毎月2回2日・16日発行
第24巻第8号・通巻516号
昭和57年11月2日 第3種郵便物認可

5-2

【第2特集】

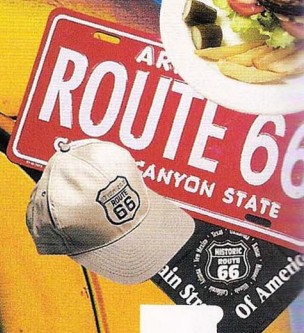
高速道路ふたり乗り解禁

特別企画 よっ!男前ライダー!

ニンテンドーDS徹底解剖

プラズマの雄「新ピエラ」を語ろう!

999.9の新作を独占スクープ



ルート66

いつかは行きたい、タビしてみたい
幻のハイウェイ



国井律子
特別エッセイ





(写真左)『和 la carte』(from Japan)
価格1600円、(写真右)『Dim Sum』
(from Hong-Kong)価格1300円。
場所：六本木ヒルズ イベントスペース
umu 恵 ハーゲンダッツ ジャパン
お客様相談室0120(190)821

*04 ハーゲンダッツによる 極上のone week

今年21周年を迎えるハーゲンダッツ ジャパンが、初のイベント店舗<ハーゲンダッツ プレミアラウンジ>を期間限定(5月9~15日)でオープンすることになった! 場所は六本木、世界で活躍するDJのサウンドを聴きながら、世界をイメージしたオリジナルメニュー10品を楽しむ。なかでも注目の2品を編集部が試食させていただきました。まず『和 la carte』は、ハツ橋をお寿司のようにアレンジした懐石風のユニークな逸品。とくに金沢から取り寄せたというモナカはオススメ。心地よい歯ごたえと風味が最高! また『Dim Sum』は、蓋を開けると湯気ならぬドライアイスの冷気がホワッとあがる、ゴマ団子や生春巻きをイメージした点心スタイル。団子風にアレンジされたココナッツとストロベリーのコンビに涙がでそう……。「後悔させません。さすがハーゲンダッツ、と言ってもらえるようなそんなイベントを目指します」とご担当氏。スイーツ好きのみなさん、このイベントを逃したらきつと後悔しますよ! 詳細はHP(<http://www.haagen-dazs.co.jp/>)をチェック!

*05 プロダクトデザイナーが考える 土産物のあるべきカタチ

旅先や人を訪ねるときなどに欠かせない土産物。普段何気なく選びがちだが、よく見るとパッケージの華美さや量の多さにばかり固執した見かけ倒しのモノが少なくない。そんな状況に疑問を投げたのが、この静岡名物の“安倍川餅”。一見ごく普通だが、じつはこれは初めから菓子器にセットされ売られている。考案はプロダクトデザイナーの酒井俊彦氏。「土産物を買った後に器に盛って食べる人がどれほどいるだろう、という問いかけが始まり。贈ってくれた人を思いながら少し豊かな時間を過ごすことができる土産物を、と」。そこで『贈っても、もらってもうれしいお土産』として慶応三年創業の老舗「松柏堂」と共同で開発。人に贈ることが前提の土産物だからこそ、そこにはあるべきカタチが存在する。押し付けではないちょっとしたアイデアが楽しく嬉しい。問 松柏堂本店☎054(252)0095

ひとつひとつ手作業でセットされ(01~04)、05の状態が私たちの手元に。なんとも上品な桐箱には金紙が敷かれ、大ぶりの黒文字が一本入っている(06)。箱蓋を開けたら黄粉と和三盆をかけて召し上げられ(07)。洒落た甘味処にいるような和やかなひとときを楽しむ。



酒井氏のこだわりはパッケージだけでなく中身にも。通常土産物の餅には砂糖が練りこんであるのだが、本来の風味を楽しむために一切加えられていない。また上からかける白砂糖は、代わりに和三盆を使用。さらに少し物足りなさを感じるほどの量やわずかな一日という賞味期限も、質より量が求められるがちな土産物にとって画期的な提案といえる。一人前価格1000円(要注販売)。

*06 おいしいデータを 持ち運び!

並んだこれら、日本を代表するスナックからニョッキと生えたUSBコネクタに首を傾げる諸兄も多くいることと思うが、そう、もちろんパソコンにさして使うのだ。どうしてか焼きにシューマイ、エビフライなのかと思えば、それぞれ大阪、横浜、名古屋のご当地USBメモリだというわけだ。いや、もうオフィスのパソコンにコイツがささって、決算報告書だとかを入れて持ち運び、という絵を想像するだけで楽しくなっちゃいます。128MBのメモリはUSB2.0対応。「フードディスク」オープン価格(実勢価格8200円~)問 ソリッドアライアンス☎045(476)4371



ほら、やっぱり不思議な光景。日本のハイレベルな食品サンプルの造形と精密テクノロジーの融合というわけだ。大げさ?

*07 ホントに楽しいんだ! 感動的ソフト第2弾

自分の撮った写真が、選んだ曲にあわせて映画みたいに再生される。文章にすると味気ないけれど、実際に使ってみれば驚くほど簡単で、驚くほど楽しい! そんな映像再生ソフト「LIFE with PhotoCinema」の第2弾が登場する。新しい特長のなかでも注目すべきはその連携機能。つくった映像をムービーファイルに変換できるので、クイックタイムなどの映像ソフトで観られるし、DVDにも焼ける(おまけにジャケット作成も可能!)。VJソフトとの連携も可能なので、パーティにもってこいのだ。その楽しさに疑問を感じているならば、体験できるホームページにぜひアクセスを! 問 デジタルステージ☎0570(000)640



プレゼント向けのオリジナルDVD-Rやケース、フリーペーパーなどがセットになった初回限定版も。価格2万790円。<http://www.digitalstage.net>